

活動報告

令和3年2月～令和3年12月

末吉の活動は地元の方々や関係各位のご尽力により支えられております



常任委員長としての委員会運営



50回の節目を迎えたミライ茶論

第1回公民連携勉強会WEB
障がい者が光がやく廃校活用
ヒカリカフェ～hikari no cafe～修業小園班店 飯沼大田園



MELDIA 協力で公民連携勉強会を開催



関東若手市議会議員の会りモード研修



福富町1丁目の道路拡幅

未利用公共施設の利用者募集

実現しました

公共施設再編を進める中で、廃止となった施設が放置される状況が続いていました。社会的に課題となっている空き家問題に足利市は取り組んでいます。その足利市が未利用公共施設という巨大な空き家を放置しては示しがつきません。また防災、防火、防犯上のリスクになり、住民にマイナスの印象を与えてしまいます。私自身この問題については一般質問で複数回提言を続けてきました。今回その解決に向けた第一歩として、民間のノウハウを生かして有効活用する方法を募集する事業が実現しました。対象は旧大久保分校、旧松田保育所、旧養護老人ホーム福寿荘の3施設です。募集の方法や事業者の発掘についてはまだまだ課題がありますが、経験を積みながら改善していただき、今後増加する未利用施設にも応用できるよう、提言を続けて参ります。

※2022年1月に旧大久保分校は事業者との契約が成立



▲詳細

梁田樋管に赤色灯設置

令和元年東日本台風では「水門等の開閉情報が住民に伝わってなかった」ことが大きな課題となっていました。事前に分かれれば、高齢者が建物の2階に避難したり、家電や車等を高い位置に運んだりすることができたはずですが、私も含めた複数の議員が情報伝達設備を設置すべきだと訴えてきました。その結果、2021年5月、国土交通省波良瀬河川事務所に、梁田樋管※1を含む4カ所の水門等へ「赤色回転灯」を設置していただくことができました。これにより水門の開閉状況を光で知らせることができます。その他にも情報伝達訓練の実施、地域での連絡網の再形成等のソフト対策、排水ポンプの設置等のハード対策が必要です。できることから確実に積みあげていくことが、守れる命と守れる財産を増やすことにつながるはずです。

※1 樋管…堤防の中に水路を通してゲートを設置したもの



▲詳細

実現しました

県の自動運転実証実験を誘致

実現しました

昨今、急速な発展を遂げる自動車の自動運転は、高齢者の移動手段確保や観光活用、運転手不足解消など様々な可能性を秘めています。一般質問で提言してきた実証実験の誘致について、この度、栃木県の実証実験(ABCプロジェクト)の対象となりました。詳細は次号でご報告いたします。



議場に大型モニターを設置



避難所開設・運営訓練を視察

令和3年3月議会 一般質問 (令和3年3月11日)

市長の政治姿勢について

～ウイズコロナ・ポストコロナの観光～

【末吉】分散型観光※2を推進することで、土日、大型連休に集中しがちな本市の観光客を平準化できる。マイクロツーリズム※3 推進により知名度のある観光資源だけでなく、貴重な文化財を有する神社仏閣、自然豊かで初心者向けのハイキングコースなど、3密を避けられる観光資源を売り出す好機となる。本格的に検討すべき。

【産業観光部長】分散型観光やマイクロツーリズムはとても効果的。平日限定の着地型ツアー造成や夜間ライトアップの実施など、国が推奨している分散型観光を活用し、旅行需要の平準化につながる観光振興について、引き続き関連団体等と連携しながら進める。

<末吉の主張>

密集を誘発する大規模な誘客事業等ができないコロナ禍。このような時だからこそ、積極的に観光インフラの再整備を進め、本市の観光戦略などを議論すべき。

※2…時間や場所を分散して混雑を避ける旅

※3…自宅からおよそ1時間圏内の地元や近隣への短距離観光

公共施設・公共空間の利活用について

～遊休資産の利活用～

【末吉】本市にどのような遊休資産があるのか、民間事業者に知ってもらうことがスタート。積極的な情報公開を。【総合政策部長】情報公開は民間事業者がそれを確知する上で有効。それぞれの資産によって環境や法規制が違うが、それらを含め、情報提供の仕方を研究していきたい。

【末吉】遊休資産活用に向け、候補地をめぐるバスツアーやトライアルサウンディング※4 等、民間事業者が現地を確認できる機会を。【総合政策部長】現物を確認、あるいは試行的な使用で新たな提案が出てくる可能性もある。検討したい。



廃校を活用したカフェ (大田原市)

<末吉の主張>

積極的な公民連携で遊休施設やエリアの価値を高め、経済効果も期待できる。推進すべき。

※4…事業者が試験的に検討事業を実施できる制度



▲詳細

令和3年9月議会 一般質問 (令和3年9月8日)

市長の政治姿勢について

～歴史都市の具現化～

【末吉】博物館については長年提言をしてきたが、1mmも前へ進められなかった。しかし今回、本市の歴史と文化の重要性を強く認識されている新市長が誕生した。足利学校の日本遺産認定、銭阿寺本堂の国宝指定、刀剣展の盛り上がりなど機運は高まっている。今こそ、文化財保存・展示施設の在り方、足利市民がまちの歴史を未来にどう残していくかの、本格的な議論をスタートすべき。

【市長】展示施設は歴史都市足利にとって必要なものである。財政的な問題があるが文化財を活用した交流人口の増加を目指し検討する必要がある。まずは既存の施設を活用し、文化財を展示して、そこを足がかりにして長期的なチャレンジとして検討したい。

<末吉の主張>

これまでの後ろ向きな答弁と違い、必要性を強く認識されている。具体的な内容や候補地も含め、まずは行政、市民が議論をスタートすることが大切。歴史はお金では買えない。まちの誇りとして様々な可能性を秘めている。

市長の政治姿勢について

～技術革新によるまちづくり～

【末吉】本市における自動運転の可能性として、東武足利市駅とJR足利駅を結ぶ交通結節手段や、織姫神社や銭阿寺と駅を結ぶ観光の2次交通手段等、その可能性は無限。これまで実証実験誘致を提言してきたが、この度、栃木県の自動運転実証事業に本市が選定をされた。事業の進捗と、先ほど挙げた本市における様々な可能性をどう考えるか。

【都市建設部長】ルート選定等を進めている。今後、関係機関と具体的な計画策定等を行っていく。自動運転を活用した両駅の連携強化や中心市街地の賑わい創出の方法なども検討したい。



栃木県の自動運転実証実験 (小山市)

<末吉の主張>

高齢者の移動手段確保、観光活用、交通事故の防止等様々な可能性のある技術を積極的に導入し、課題解決につなげていくべき。



▲詳細

詳しくはホームページの議事録をご覧ください